

JPIC NEWSLETTER

通巻 265 号

2025 年 4 月 18 日

JPIC読書アドバイザー養成講座 修了生は3,000人に

「第31期JPIC読書アドバイザー養成講座」の最終スクーリングが、3月29日(土)、30日(日)におこなわれました。全4回のうち、第1回は台風の影響により収録動画での受講となりましたが、以降は全て会場にて開催。今期は101名(30期補講生7名含む)が修了し、第1期から数えると、読書アドバイザーは3,000名を超えました。

各分野の第一人者の講義のほか、アドバイザーとして活躍している2名の修了生から受講後の活動内容が語られたのち、「こんな修了生になりたい」というテーマでディスカッションを実施。同じ志を持った仲間と出会えたことで、今後の活動に対するモチベーションがあがった等の声がありました。また修了記念講演としてお招きした風良ゆうさん(小説家)は、「『星の裏側』～『汝、星のごとく』と『星を編む』ができるまで～」と題し、創作エピソードを紹介。



風良ゆうさん(聞き手: 講談社 河北壮平氏)

修了式では、理事長 近藤敏貴より「読書推進の担い手である、JPIC読書アドバイザーとなった皆様と一緒に活動できることを楽しみにしています」と期待の言葉が寄せられ、日本書店商業組合連合会 会長 矢幡秀治氏からは「この講座で得た知識を通じて、ぜひ主催者としてイベントを開催し、一人でも多くの方に読書の楽しさを伝えてください」とエールが送られました。

第32期は2025年8月より開講予定。来期もカリキュラムの更新をおこない、読書推進の現場で活躍する人材育成にさらに力を入れてまいります。今後ともご注目ください。

マンガ感想文コンクール2024 受賞者決定

3月15日(土)14時より、日本教育会館(千代田区)にて「マンガ感想文コンクール2024」授賞式を執りおこないました。本事業は、日本が世界に誇る文化である「マンガ」を通じて子どもたちの豊かな感性を育むことを目的としています。

2024年度はコミック出版社12社と関連社1社(秋田書店/アルファポリス/一迅社/KADOKAWA/講談社/集英社/主婦と生活社/小学館/スクウェア・エニックス/白泉社/双葉社/フロンティアワークス・日本図書普及)の協賛を受けて実施。全国の小中高生より、昨年度を上回る13,228通の応募がありました。1次審査(審査員: JPIC読書アドバイザー)、2次審査(同: マンガ編集者)を経て、1月31日(金)におこなわれた最終審査において、小中高部門でグランプリ4作品、特別賞19作品が決定。また応募数や審査通過率が優秀であった10校を選出し、団体賞を贈賞しました。

最終審査員の甲斐雄一郎氏(文教大学教授)、藤本由香里氏(明治大学教授)、町田守弘氏(早稲田大学名誉教授)、吉村和真氏(京都精華大学教授)、川窪慎太郎氏(講談社 週刊少年マガジン編集長)、萩原綾乃氏(小学館 ちゃお編集長)より各作品への講評が述べられ、グランプリ受賞者4名からは「初めての応募で受賞することができて、とても嬉しかった」等、喜びのコメントが語られました。

加えて授賞式前日の3月14日(金)には、受賞者を対象にした講談社のコミック編集部見学ツアーを実施。歴史ある建物やマンガが生まれる編集の現場に、参加者たちは目を輝かせていました。



表彰された受賞者たち

なお今年度は授賞式に続き、「マンガ感想文コンクールpresentsサンデー×ジャンプ×チャンピオン×マガジン4大少年マンガ誌編集長トークセッション」を開催。小学館『ちゃお』萩原綾乃編集長を進行役に、小学館『週刊少年サンデー』大嶋一範編集長、集英社『週刊少年ジャンプ』齊藤 優編集長、秋田書店『週刊少年チャンピオン』松山英生編集長、講談社『週刊少年マガジン』川窪慎太郎編集長を迎えておこなわれたトークセッションには、一般参加者をあわせ約350名が来場。編集にまつわるさまざまなエピソードや裏話が繰り広げられ、最後は「マンガ界の未来に求めるもの」というトークテーマで締めくくられました。

「マンガ感想文コンクール2024」の受賞作品は、特設サイト (<https://www.mangakansoubun.jp/>) にて公開中です。

本事業は2025年度もコミック出版社および出版関連事業者の協力を得て、応募作品の増加に向け、さらなる広報活動と参加促進に注力してまいります。



マンガ誌編集長5名による座談会

第138回理事会および 第89回評議員会を開催

去る3月28日（金）に第138回理事会および第89回評議員会を出版クラブビル（千代田区）およびオンライン（Zoom）にて開催し、以下の議案について審議いただきました。

【第1号議案】

2024年度事業報告案並びに収支見通し

【第2号議案】

2025年度事業計画並びに収支予算案

【報告事項】

- ・BOOK MEETS NEXT2025開催骨子
- ・東京著作権説明会
- ・書店議連の動き
- ・次年度の主要な取り組み

各会ともに、すべての議案は満場一致にて承認されました。

TOKYO RIGHTS MEETING 2025 規模を拡大し、プリズムホールにて 11月開催

6回目の開催となる「TOKYO RIGHTS MEETING 2025（東京著作権説明会）」が、11月5日（水）、6日（木）に東京ドームシティプリズムホール（文京区）で開催することが決定しました。今年度はBOOK MEETS NEXTの一環としてJPIC内に推進部会を設置し、準備・運営をおこないます。メディアドゥ本社（千代田区）にて4月10日（木）におこなった開催説明会では、共催や協賛、補助金なども活用して規模を拡大し、海外出版社の参加促進にも力を入れていくことを発表しました。

子どもの読書イベントを 横浜市で開催

3月22日（土）に横浜市役所1階アトリウムおよび市民協働スペースにて「よこはまこども読書パーク」が開催されました（主催：横浜市教育委員会／協力：有隣堂／受託事業者：JPIC）。「ブックフェア」では、出版社11社がブースを出展し、絵本や図鑑、読み物など子ども向けの本を販売。また、「ステージイベント」では人気キャラクターとの撮影会、ポップアップカードやサンドイッチカードのワークショップ、紙工作体験などがおこなわれ、大いににぎわいました。さらに今年度は、キャラクターパネルのフォトスポットを3か所設置。家族や仲間でおはなしの世界に入って楽しむ姿が見られました。そのほかにも、“読む”以外のさまざまな方法で読書を楽しむことができる図書の展示、横浜市立図書館による電子書籍体験やおはなし会の開催、移動図書館「はまかぜ号」による図書の貸出などさまざまな企画が催され、来場者は思い思いに本と触れ合いました。詳細は横浜市ホームページ「令和6年度 よこはまこども読書パーク」をご覧ください。

公式ホームページはこちら▶



NEWSについてのお問合せや詳細資料をご希望の方は、事務局までお申し付け下さい。

JPIC HPアドレス：<https://www.jplic.or.jp>

賛助会員様のイベント情報を発信します！